

速度取締指針

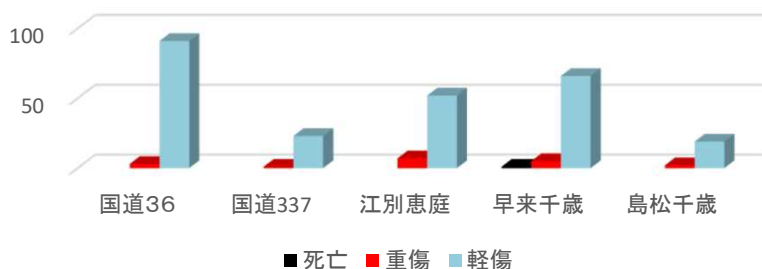
千歳警察署の速度取締りの重点

路線	時間帯	地域	規制速度
国道36号	7時～10時 16時～18時	市街	指定速度(50km/h)
道道早来千歳線	8時～10時 16時～18時	市街	指定速度(50km/h)

重点以外の路線や時間帯であっても、必要に応じて取締りを実施します。

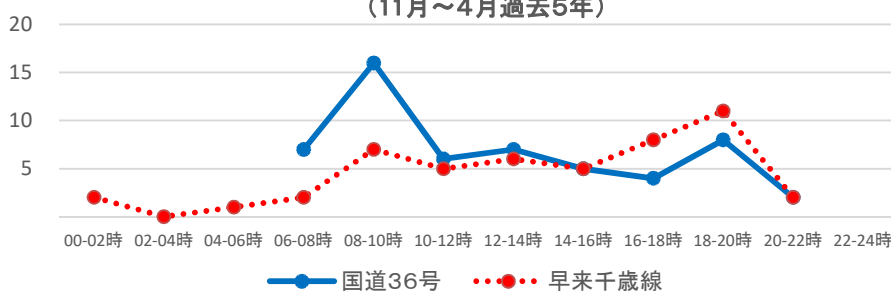
千歳警察署管内の交通事故実態等

路線別人身交通事故発生件数（11月～4月過去5年）



- 過去5年の人身交通事故発生件数を主要道路別に比較すると、国道36号、道道早来千歳線、道道江別恵庭線の順になっています。
- 発生件数や重傷事故の割合が比較的高い国道36号と道道早来千歳線を速度取締重点路線に指定しています。

国道36号・道道早来千歳線 時間帯別人身交通事故発生状況（11月～4月過去5年）



過去5年の国道36号と道道早来千歳線の時間帯別人身交通事故発生状況を見ると、国道36号、道道早来千歳線共に
8時 から 10時
18時 から 20時
に多発しています。

道路交通環境

- ◆ 千歳警察署は、千歳市と恵庭市の2市を管轄し、管内には新千歳空港が所在しており、道内交通の要衝となっています。
 - ◆ 取締重点の国道36号は、札幌と地方都市を結ぶ主要国道で、大型車両の交通量が多いほか、レンタカーを利用する旅行者も多くなっています。
- また、管内を横断する道道江別恵庭線、早来千歳線は、大型商業施設が建ち並んでいることから交通量も多くなっています。
- ◆ 今年は、新千歳空港から苫小牧市に至る千歳インター線で鹿などの野生動物との衝突事故が多くなっています。

～ 過去5年間(平成30年11月1日から令和5年4月30日)における千歳警察署管内人身事故の特徴 ～

人身事故は年平均で約90件発生しており、そのうち市街地交差点での事故が全体の59.1%を占め、事故類型としては、車両相互の追突、出会い頭事故が全体の半数以上(57.5%)を占めています。この時期は、路面凍結により制動距離が長くなるため、速度を抑え、車間距離を夏場の2倍以上に保ち、早めのブレーキ操作のほか、日没が早いと横断歩行者等の発見が遅れがちになるため、早めのライト点灯やデイライトの点灯をお願いします。

その他の交通指導取締りの要点

速度取締りのほか、市街地における交差点違反、シートベルト違反の取締りを強化します。